

V 仕事について

18. 女性の働き方について（現実と理想）（女性は本人、男性は配偶者・パートナーについて）【問 18】

女性では、現実には「子育て期に一時やめ、その後パートタイム」が 33.1%と最も高い。一方、理想では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」が最も高く 34.4%、次いで「子育て期に一時やめ、その後フルタイム」が 29.9%で、理想と現実のギャップがある。このギャップはどの年齢層でもみられる。

男性では、現実とは女性と同じく「子育て期に一時やめ、その後パートタイム」が 31.4%で最も高いが、理想としては「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」と「子どもができたら家事や育児に専念」がともに約 30%で最も高い。ただし、30～50 歳代では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」の選択率が最も高くなっている。

図 18-1. 女性の働き方について（現実）

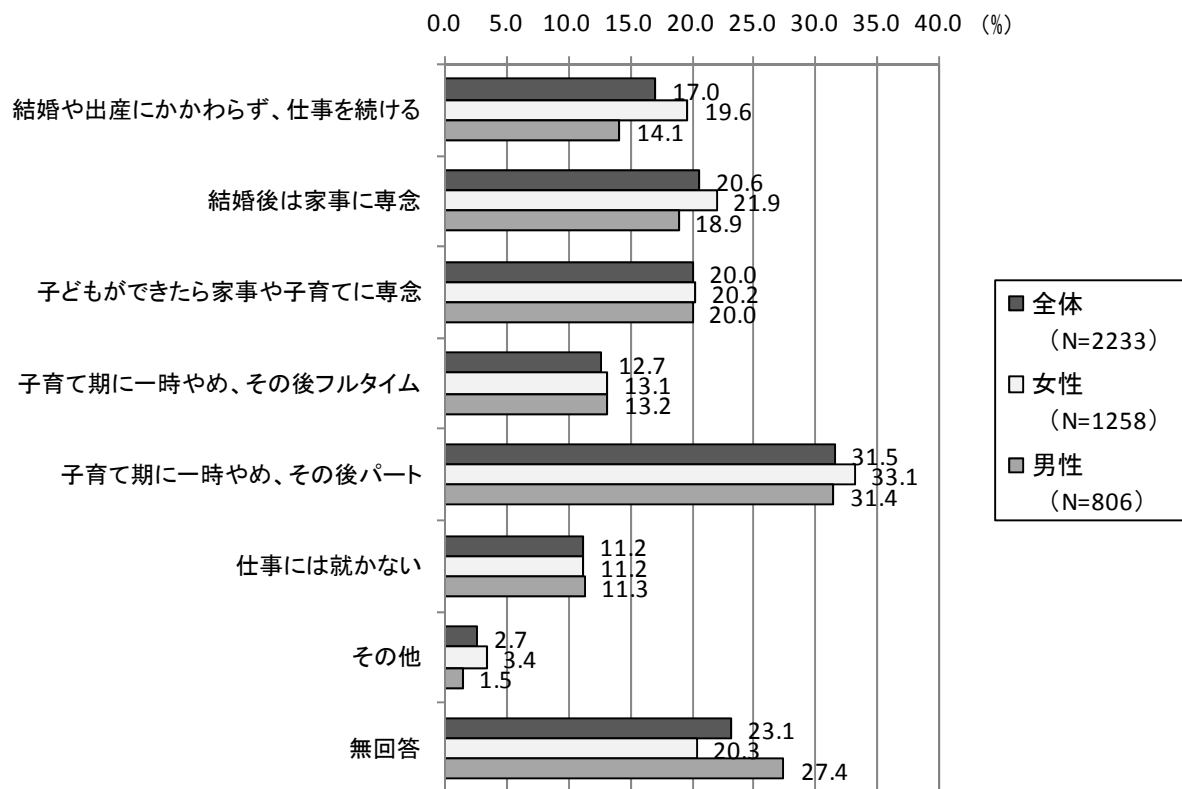
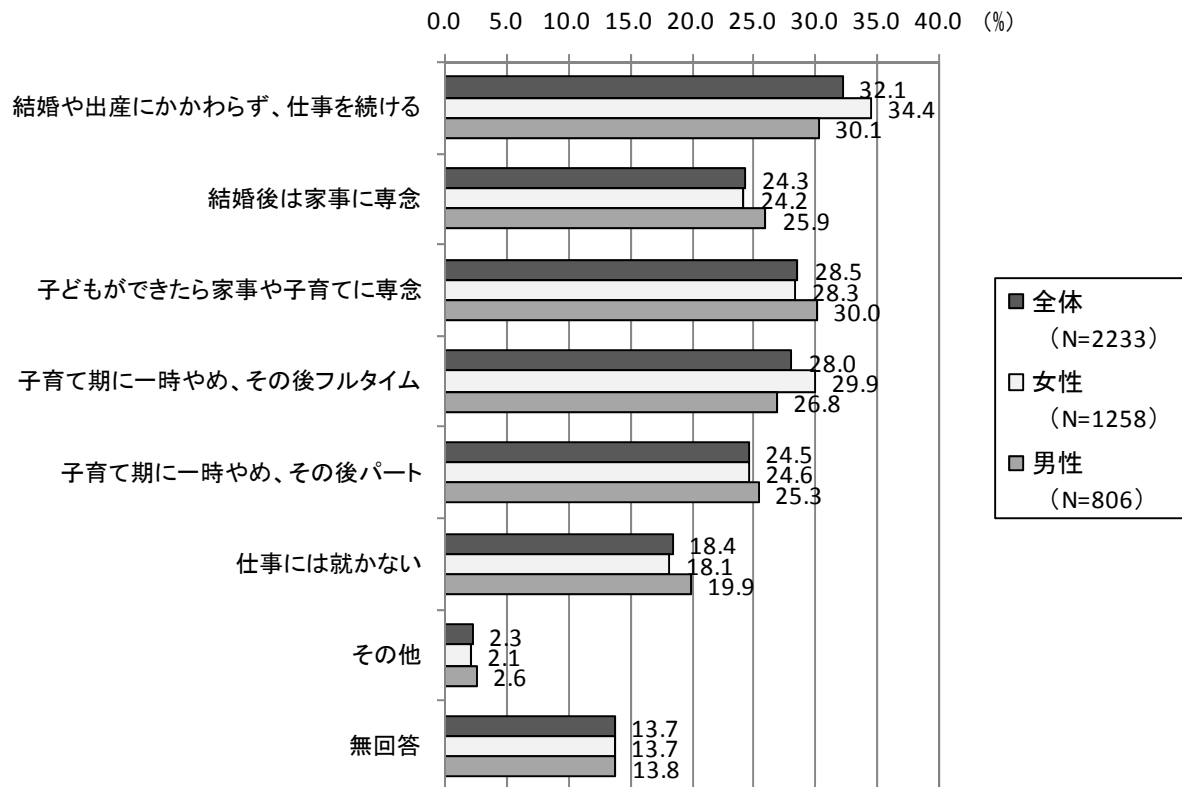


図 18-2. 女性の働き方について（理想）



○大阪府調査・内閣府調査、過去の調査（2005 年）との比較

女性の理想の働き方について、「結婚や出産にかかわらず就業継続」の選択率は大阪府調査に比べ、男女とも 10 ポイント前後高いが、内閣府調査に比べると 10 ポイント程度低い。大阪府調査では、男女とも「子育て期は中断し、その後はパートタイムで働く」の選択率が最も高いのに対し、本調査では内閣府調査と同様に、男女とも「結婚や出産にかかわらず就業継続」の選択率が最も高くなっている。

2005 年堺市調査における「女性が職業を持つことについて」の考えと比較すると、「結婚や出産にかかわらず就業継続」を理想として選択する割合は 10 ポイント以上高くなっている。

ただし、これらの調査において回答は単一選択である。本調査も単一選択で設計したが、回答に多肢選択が多かったため、できるだけ多くの回答を活かすよう集計時に多肢選択扱いとしている。

表 18-1. 女性の働き方について（現実）（性別・年齢別）

		回答者数	結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	結婚後は家事に専念	子どもができてから家事や子育てに専念	子育て期に一時やめ、その後フルタイム	子育て期に一時やめ、その後パート	仕事には就かない	その他	無回答
女性	20歳代	114	24.6	14.0	19.3	15.8	36.0	9.6	3.5	15.8
	30歳代	246	26.0	22.4	21.5	13.4	34.1	8.1	4.5	14.6
	40歳代	207	22.7	21.7	19.3	13.0	34.3	13.5	4.8	13.5
	50歳代	209	20.6	26.8	21.5	11.0	37.3	13.9	4.3	12.0
	60歳代	287	15.3	24.4	20.6	12.2	33.8	10.8	2.1	24.7
	70歳以上	192	10.9	17.7	18.2	14.6	22.9	10.9	1.6	40.1
	全体	1,258	19.6	21.9	20.2	13.1	33.1	11.2	3.4	20.3
男性	20歳代	67	13.4	9.0	14.9	13.4	22.4	7.5	0.0	49.3
	30歳代	129	14.7	16.3	18.6	11.6	34.1	10.9	2.3	31.0
	40歳代	108	13.0	22.2	19.4	11.1	33.3	11.1	0.0	20.4
	50歳代	134	20.1	20.1	15.7	16.4	40.3	13.4	1.5	13.4
	60歳代	219	15.5	18.7	23.3	12.8	32.4	11.9	2.7	26.0
	70歳以上	148	7.4	22.3	23.0	13.5	22.3	10.8	0.7	33.8
	全体	806	14.1	18.9	20.0	13.2	31.4	11.3	1.5	27.4

表 18-2. 女性の働き方について（理想）（性別・年齢別）

		回答者数	結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	結婚後は家事に専念	子どもができてから家事や子育てに専念	子育て期に一時やめ、その後フルタイム	子育て期に一時やめ、その後パート	仕事には就かない	その他	無回答
女性	20歳代	114	32.5	27.2	30.7	25.4	27.2	22.8	2.6	8.8
	30歳代	246	38.6	22.8	25.2	30.9	25.6	21.5	1.2	11.4
	40歳代	207	40.6	19.3	27.1	30.0	25.1	12.6	1.0	7.2
	50歳代	209	38.3	20.6	25.8	37.3	21.1	13.9	3.3	9.6
	60歳代	287	32.1	27.5	32.1	30.3	27.2	21.6	2.4	17.1
	70歳以上	192	23.4	28.1	29.2	22.4	20.8	16.1	2.6	26.0
	全体	1,258	34.4	24.2	28.3	29.9	24.6	18.1	2.1	13.7
男性	20歳代	67	25.4	17.9	16.4	19.4	28.4	17.9	3.0	9.0
	30歳代	129	32.6	20.9	29.5	30.2	28.7	14.0	2.3	5.4
	40歳代	108	38.0	26.9	33.3	27.8	24.1	19.4	1.9	7.4
	50歳代	134	32.8	20.1	30.6	28.4	22.4	17.9	3.0	11.9
	60歳代	219	26.5	31.5	28.3	27.4	24.2	23.7	2.3	19.6
	70歳以上	148	27.7	30.4	36.5	24.3	26.4	22.3	3.4	20.3
	全体	806	30.1	25.9	30.0	26.8	25.3	19.9	2.6	13.8

19. 現在の勤務形態と希望の勤務形態【問 19】

本人の現在の勤務形態は、女性では「専業主婦・主夫」24.7%、「非正規社員（職員）」23.3%、「正社員（職員）」17.2%の順であるが、希望の勤務形態は、「正社員（職員）」24.5%、「非正規社員（職員）」16.7%、「専業主婦・主夫」13.0%の順となっており、現実の勤務形態と希望の勤務形態にギャップがある。女性では現在の勤務形態よりも希望の勤務形態で正規雇用を希望する割合が高くなるが、男性では低くなっている。

配偶者・パートナーの現在の勤務形態は、女性では「正社員（職員）」の比率が圧倒的に高いが、男性では「専業主婦・主夫」と「非正規社員（職員）」の割合が最も高く、次いで「正社員（職員）」となっている。

図 19-1. 現在の勤務形態（本人）

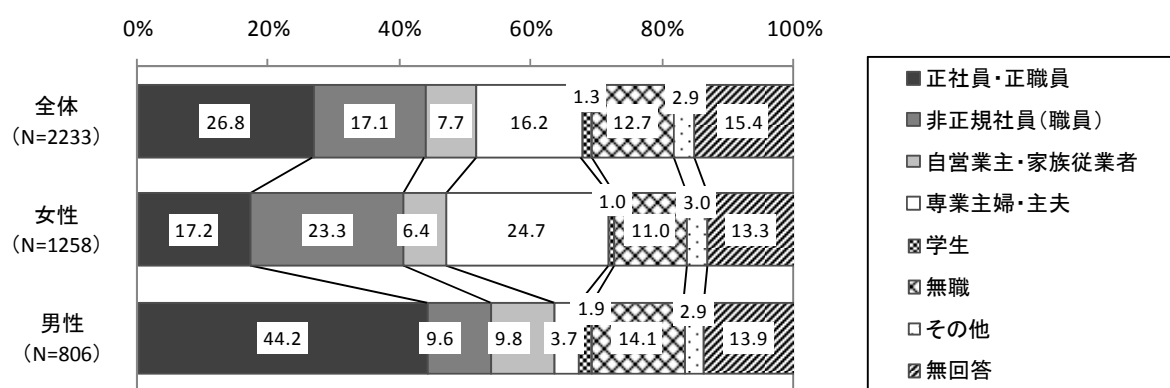


図 19-2. 希望の勤務形態（本人）

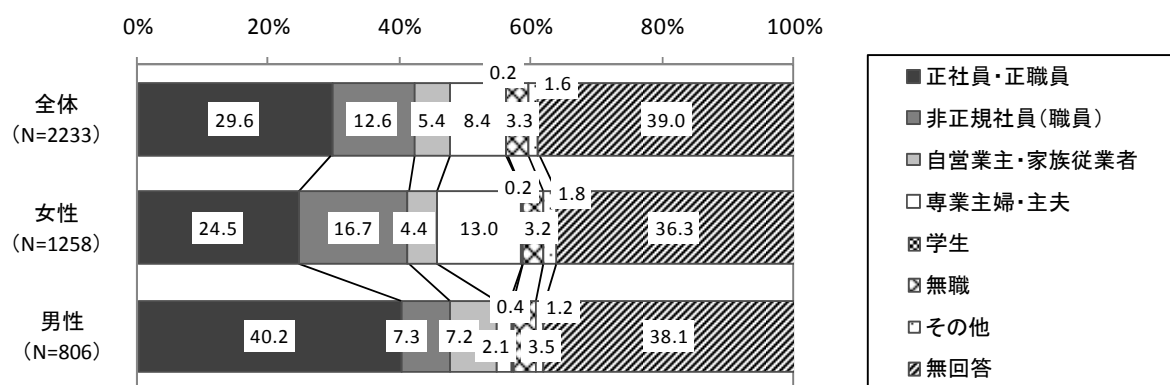
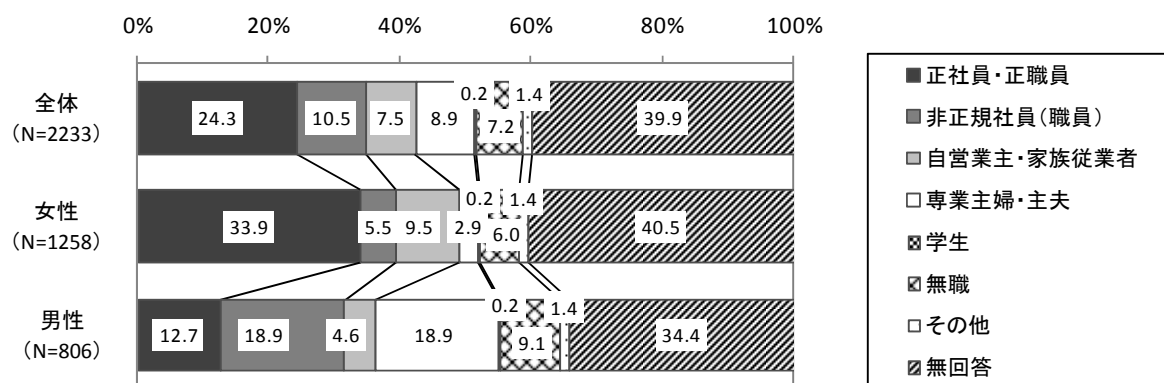


図 19-3. 現在の勤務形態（配偶者・パートナー）



○大阪府調査との比較

現在の勤務形態について大阪府調査と比べると、正規雇用者の割合は男女ともに若干低くなっている。

表 19 - 1. 現在の勤務形態（本人）（性別・年齢別）

		回答者数	正社員・正職員	非正規社員（職員）	自営業主・家族従業者	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
女性	20歳代	114	43.9	20.2	0.0	11.4	8.8	6.1	2.6	7.0
	30歳代	246	29.3	30.5	5.7	27.6	0.4	2.4	0.4	3.7
	40歳代	207	21.3	34.3	10.6	24.2	0.0	3.4	1.0	5.3
	50歳代	209	14.8	30.1	12.0	27.8	0.0	7.2	2.4	5.7
	60歳代	287	4.2	17.4	4.2	31.7	0.0	15.0	6.3	21.3
	70歳以上	192	4.2	5.2	3.6	15.6	1.0	31.3	4.7	34.4
	全体	1,258	17.2	23.3	6.4	24.7	1.0	11.0	3.0	13.3
男性	20歳代	67	55.2	13.4	0.0	0.0	17.9	4.5	3.0	6.0
	30歳代	129	79.8	4.7	7.8	0.8	0.8	0.8	0.8	4.7
	40歳代	108	78.7	2.8	10.2	1.9	0.0	2.8	0.0	3.7
	50歳代	134	61.9	6.7	15.7	3.0	0.0	3.7	1.5	7.5
	60歳代	219	17.8	17.8	12.3	5.0	0.5	23.3	4.6	18.7
	70歳以上	148	5.4	7.4	6.8	8.1	0.7	34.5	5.4	31.8
	全体	806	44.2	9.6	9.8	3.7	1.9	14.1	2.9	13.9

表 19-2. 希望の勤務形態（本人）（性別・年齢別）

		回答者数	正社員・正職員	非正規社員（職員）	家族従業者・自営業主	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
女性	20歳代	114	47.4	18.4	0.9	11.4	0.9	0.0	1.8	19.3
	30歳代	246	33.7	25.2	5.7	15.9	0.0	1.2	2.0	16.3
	40歳代	207	30.4	22.7	6.8	15.9	0.0	2.4	2.4	19.3
	50歳代	209	29.2	17.7	7.7	15.8	0.5	3.3	1.0	24.9
	60歳代	287	10.5	11.8	3.5	11.1	0.0	2.8	2.1	58.2
	70歳以上	192	8.3	4.2	0.0	6.8	0.0	8.9	1.6	70.3
	全体	1,258	24.5	16.7	4.4	13.0	0.2	3.2	1.8	36.3
男性	20歳代	67	64.2	1.5	1.5	0.0	3.0	0.0	0.0	29.9
	30歳代	129	61.2	2.3	11.6	2.3	0.0	0.8	0.8	20.9
	40歳代	108	59.3	0.9	10.2	1.9	0.0	0.0	0.0	27.8
	50歳代	134	47.0	4.5	8.2	2.2	0.0	0.7	2.2	35.1
	60歳代	219	26.5	16.0	5.5	2.3	0.5	5.5	0.9	42.9
	70歳以上	148	11.5	8.8	5.4	2.7	0.0	9.5	2.7	59.5
	全体	806	40.2	7.3	7.2	2.1	0.4	3.5	1.2	38.1

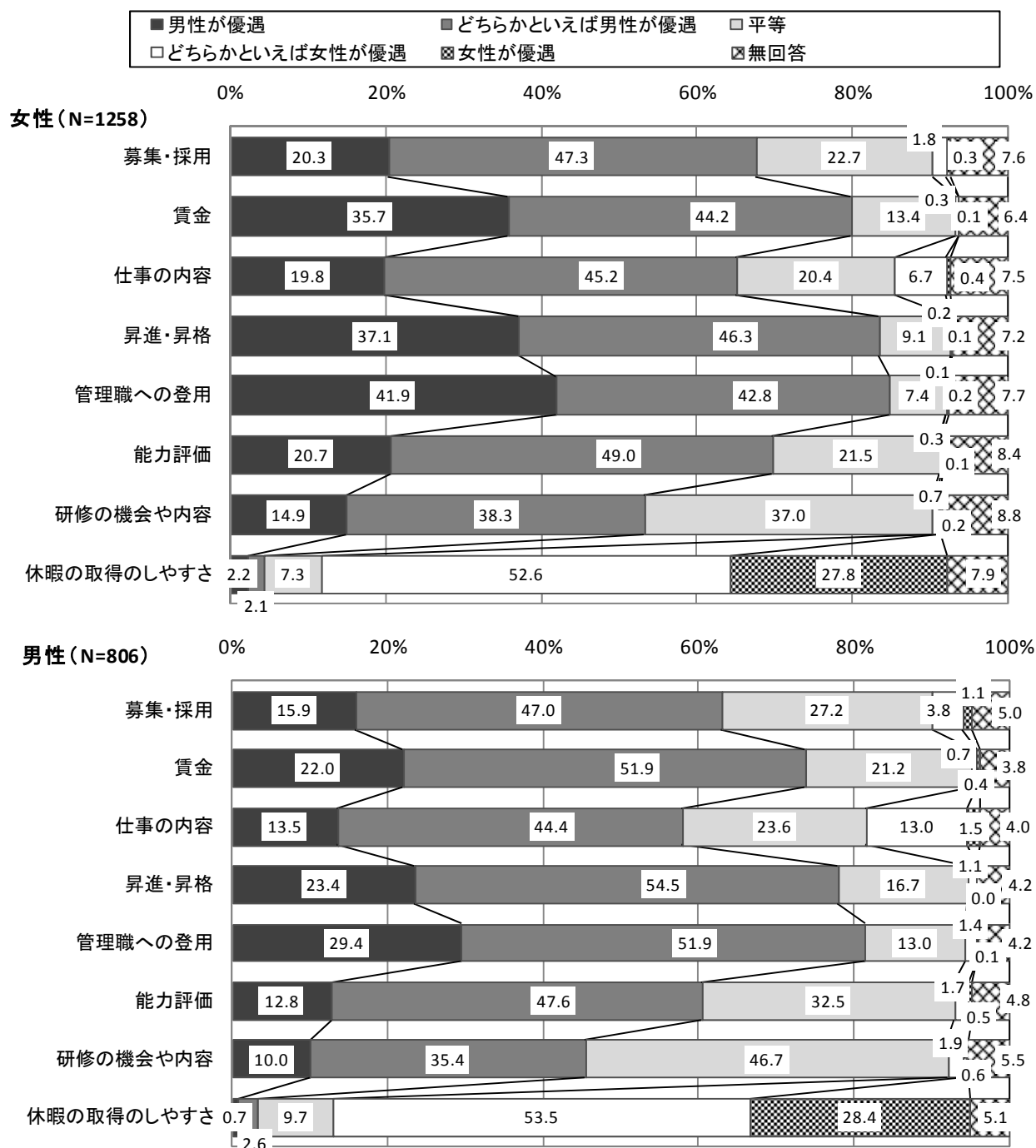
表 19-3. 現在の勤務形態（配偶者・パートナー）（性別・年齢別）

		回答者数	正社員・正職員	非正規社員（職員）	家族従業者・自営業主	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
女性	20歳代	114	37.7	2.6	4.4	0.0	1.8	0.0	2.6	50.9
	30歳代	246	57.3	2.4	8.9	1.2	0.4	0.4	0.8	28.5
	40歳代	207	58.0	2.4	14.0	0.5	0.0	0.5	0.5	24.2
	50歳代	209	37.8	12.0	13.4	2.9	0.0	5.3	1.0	27.8
	60歳代	287	11.8	9.4	9.8	7.0	0.0	13.2	2.1	46.7
	70歳以上	192	4.7	1.0	3.6	3.6	0.0	12.5	2.1	72.4
	全体	1,258	33.9	5.5	9.5	2.9	0.2	6.0	1.4	40.5
男性	20歳代	67	22.4	9.0	0.0	7.5	1.5	0.0	1.5	58.2
	30歳代	129	17.8	17.8	3.9	20.2	0.0	5.4	0.0	34.9
	40歳代	108	18.5	32.4	3.7	22.2	0.0	4.6	0.0	18.5
	50歳代	134	17.2	31.3	6.0	17.9	0.0	4.5	0.7	22.4
	60歳代	219	7.3	15.5	5.9	23.7	0.5	12.3	1.8	32.9
	70歳以上	148	3.4	8.1	4.7	13.5	0.0	18.9	3.4	48.0
	全体	806	12.7	18.9	4.6	18.9	0.2	9.1	1.4	34.4

20. 仕事に関することで男女差があると思うこと 【問 20】

問 1 と同様に、男女で認識の差が大きい。「休暇の取得のしやすさ」を除くすべての項目で「男性が優遇」と認識されており、特に「管理職への登用」「昇進・昇格」「賃金」で不平等の認識が高い。

図 20. 仕事に関することで男女差があると思うこと



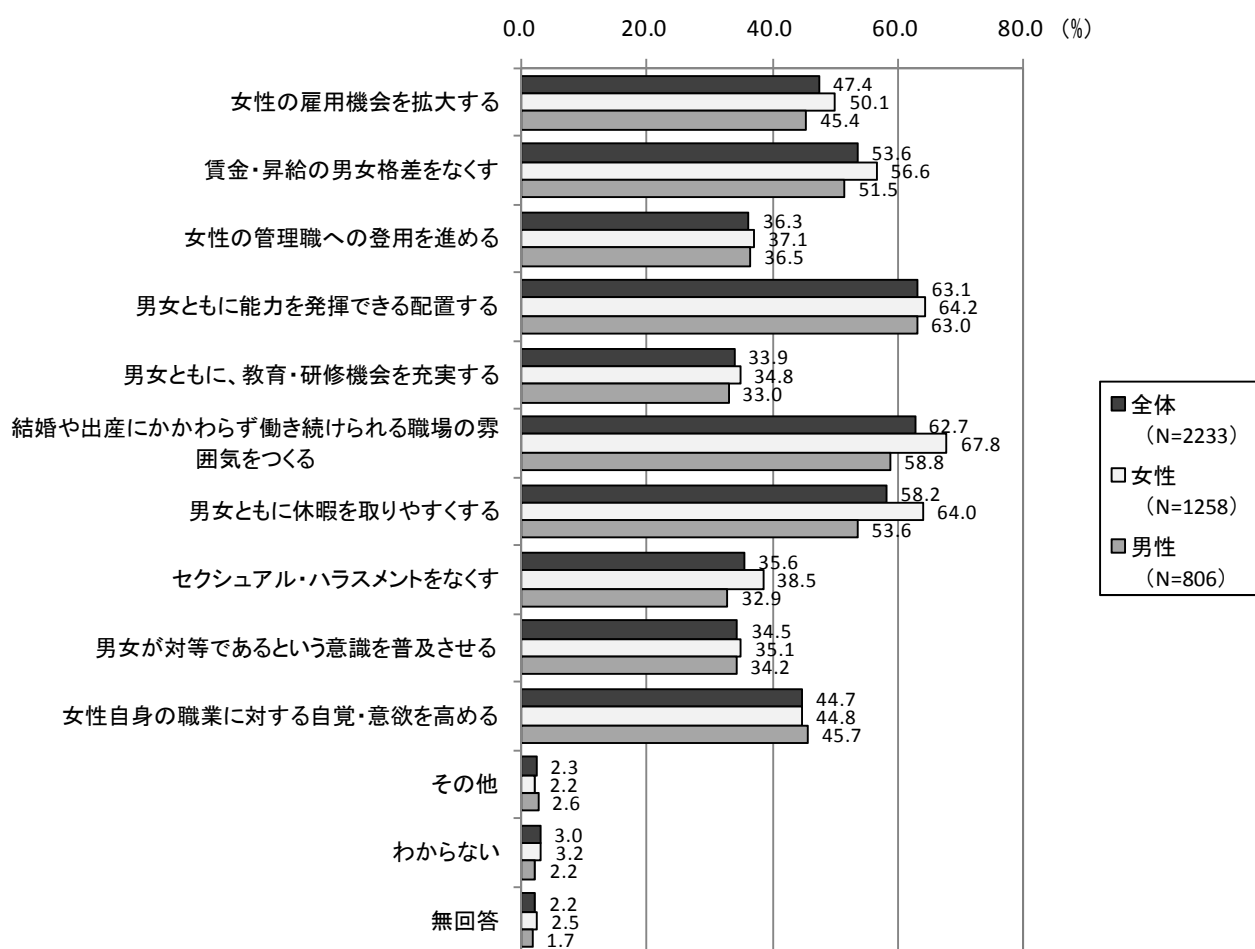
○大阪府調査との比較

大阪府調査と比較すると、「休暇の取得のしやすさ」を除くすべての項目で「平等」と認識している割合が低く、特に「賃金」では男女とも 30 ポイント程度低くなっている。

21. 男女が対等に働くために必要なこと（複数回答）【問 21】

男女が対等に働くために必要なこととしては、女性では「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」が最も高く 67.8%、次いで「男女ともに能力を発揮できる配置をする」が 64.2%、「男女ともに休暇を取りやすくする」が 64.0%、「賃金・昇給の男女格差をなくす」が 56.6%と高くなっている。男性では「男女ともに能力を発揮できる配置をする」が 63.0%で最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」が 58.8%、「男女ともに休暇を取りやすくする」が 53.6%と高い。

図 21. 男女が対等に働くために必要なこと（複数回答）



○大阪府調査との比較

大阪府調査と比べ、女性では選択率が高い上位項目および選択率はほぼ同じであるが、男性では各項目の選択率が5ポイント以上高くなっている。

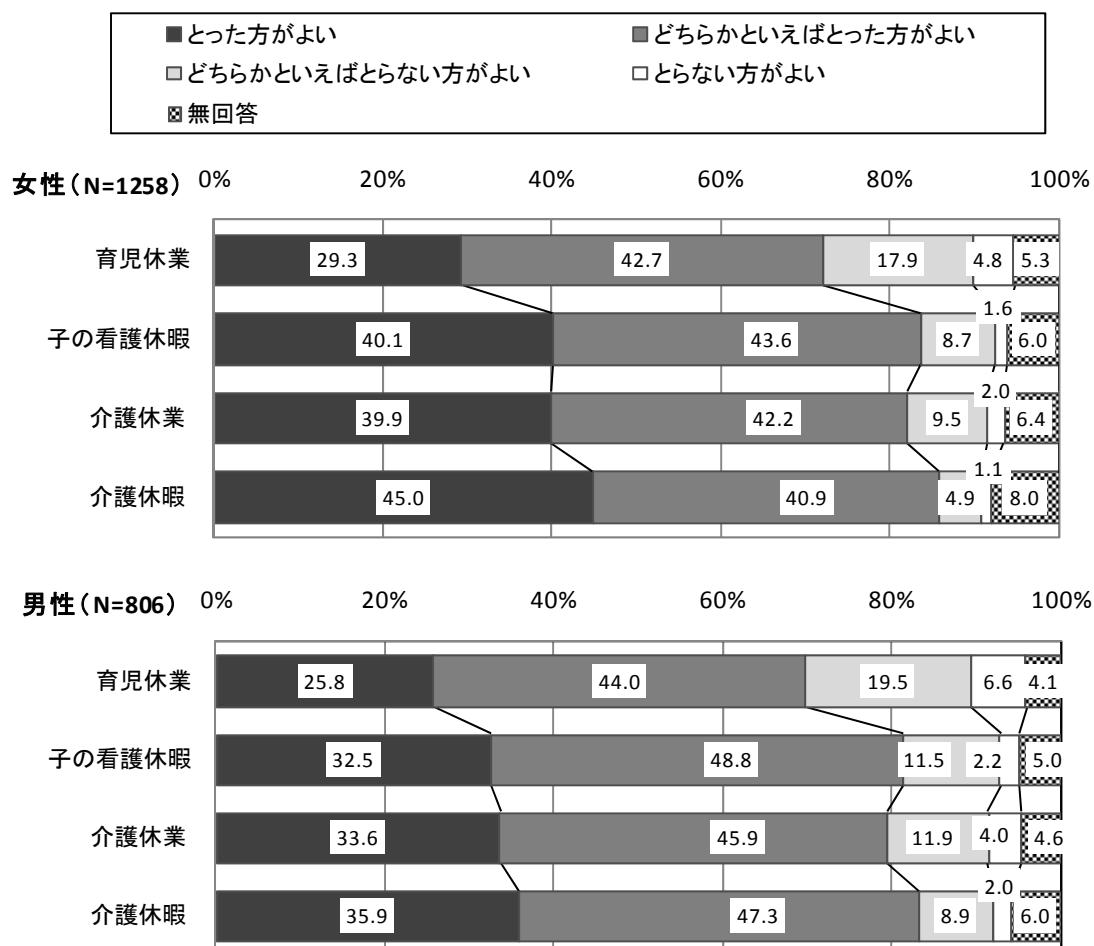
表 21. 男女が対等に働くために必要なこと（複数回答）（性別・年齢別）

		回答者数	女性の雇用機会を拡大する	賃金・昇給の男女格差をなくす	女性の管理職への登用を進める	男女ともに能力を発揮できる配置する	男女ともに、教育・研修機会を充実する	結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる	男女ともに休暇を取りやすくする	セクシュアル・ハラスメントをなくす	男女が対等であるという意識を普及させる	女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	その他	わからない	無回答
女性	20歳代	114	43.9	61.4	43.9	62.3	30.7	80.7	78.1	43.0	42.1	27.2	3.5	1.8	2.6
	30歳代	246	49.6	59.3	40.7	58.9	26.8	78.0	74.8	36.2	35.0	39.8	2.0	2.0	0.8
	40歳代	207	46.9	58.0	37.2	62.3	32.4	68.1	64.7	33.8	31.4	42.0	3.9	2.9	1.0
	50歳代	209	52.2	62.2	37.3	70.8	40.2	70.3	67.0	40.2	34.0	51.7	3.8	1.4	1.4
	60歳代	287	56.4	55.7	39.4	68.3	39.7	61.7	57.8	44.3	38.3	51.9	1.0	2.8	1.7
	70歳以上	192	46.4	43.8	24.5	61.5	36.5	52.6	46.4	33.3	31.3	45.8	0.0	8.3	8.3
	全体	1,258	50.1	56.6	37.1	64.2	34.8	67.8	64.0	38.5	35.1	44.8	2.2	3.2	2.5
男性	20歳代	67	38.8	46.3	37.3	61.2	31.3	64.2	59.7	41.8	31.3	32.8	1.5	7.5	0.0
	30歳代	129	39.5	48.8	41.1	55.8	26.4	70.5	61.2	31.8	34.1	38.8	1.6	2.3	0.8
	40歳代	108	30.6	45.4	27.8	58.3	21.3	58.3	53.7	29.6	28.7	49.1	6.5	0.9	0.0
	50歳代	134	52.2	56.0	37.3	65.7	34.3	56.7	47.8	29.1	38.1	41.0	3.7	0.7	2.2
	60歳代	219	47.5	50.2	37.4	63.5	36.1	54.3	46.1	31.5	31.1	48.4	1.8	2.3	2.7
	70歳以上	148	54.7	58.8	36.5	70.9	42.6	55.4	60.8	37.8	41.2	54.7	1.4	2.0	2.7
	全体	806	45.4	51.5	36.5	63.0	33.0	58.8	53.6	32.9	34.2	45.7	2.6	2.2	1.7

22. 男性が育児・介護休業制度を利用することについての考え【問 22】

男性が育児・介護休業制度を利用することについての考えでは、「とったほうがよい」とする意見が、男女ともに「子の看護休暇」「介護休業」「介護休暇」は約 80%、「育児休業」は約 70%を占めている。

図 22. 男性が育児・介護休業制度を利用することについての考え



○大阪府調査との比較

大阪府調査では、男性に育児休業の取得希望をたずねており、取得希望率は 35.5%である。本調査は一般的な考えを質問しており、大阪府調査は本人の取得希望を質問しているため厳密には比較できないが、本調査の割合はかなり高いといえる。

表 22-1. 男性が「育児休業」を利用することについての考え（性別・年齢別）

		回答者数	とった方がよい	とどちらの方がよい ええ	どちらの方がよい ええ	とらない方がよい	無回答
女性	20歳代	114	40.4	36.0	14.9	6.1	2.6
	30歳代	246	34.6	46.3	13.0	5.3	0.8
	40歳代	207	33.8	38.6	21.7	3.4	2.4
	50歳代	209	30.6	46.4	17.2	4.3	1.4
	60歳代	287	23.3	46.3	20.9	4.2	5.2
	70歳以上	192	19.3	35.9	18.2	6.3	20.3
	全体	1,258	29.3	42.7	17.9	4.8	5.3
男性	20歳代	67	43.3	32.8	17.9	4.5	1.5
	30歳代	129	33.3	44.2	14.0	7.0	1.6
	40歳代	108	27.8	45.4	16.7	10.2	0.0
	50歳代	134	17.2	50.0	22.4	7.5	3.0
	60歳代	219	24.2	44.3	21.5	5.0	5.0
	70歳以上	148	20.3	41.9	21.6	6.1	10.1
	全体	806	25.8	44.0	19.5	6.6	4.1

表 22-2. 男性が「子の看護休暇」を利用することについての考え（性別・年齢別）

		回答者数	とった方がよい	とどちらの方がよい ええ	どちらの方がよい ええ	とらない方がよい	無回答
女性	20歳代	114	43.0	44.7	7.0	2.6	2.6
	30歳代	246	49.2	40.2	8.1	0.8	1.6
	40歳代	207	44.4	44.0	9.2	1.0	1.4
	50歳代	209	45.9	45.5	5.3	1.4	1.9
	60歳代	287	32.4	47.4	11.1	1.7	7.3
	70歳以上	192	27.6	39.1	9.9	2.6	20.8
	全体	1,258	40.1	43.6	8.7	1.6	6.0
男性	20歳代	67	47.8	38.8	9.0	1.5	3.0
	30歳代	129	38.8	48.1	8.5	3.1	1.6
	40歳代	108	37.0	43.5	13.9	3.7	1.9
	50歳代	134	29.1	51.5	12.7	3.7	3.0
	60歳代	219	26.5	54.8	12.3	0.9	5.5
	70歳以上	148	29.1	45.9	11.5	1.4	12.2
	全体	806	32.5	48.8	11.5	2.2	5.0

問 22-3. 男性が「介護休業」を利用することについての考え（性別・年齢別）

		回答者数	とった方がよい	どちらの方がよい え	どちらの方がよい え	とらない方がよい	無回答
女性	20歳代	114	41.2	43.9	8.8	3.5	2.6
	30歳代	246	45.1	41.9	9.3	2.0	1.6
	40歳代	207	46.4	42.0	8.7	1.0	1.9
	50歳代	209	45.5	42.1	9.1	1.0	2.4
	60歳代	287	32.1	47.0	10.8	1.4	8.7
	70歳以上	192	31.3	34.9	9.4	4.2	20.3
	全体	1,258	39.9	42.2	9.5	2.0	6.4
男性	20歳代	67	38.8	41.8	16.4	0.0	3.0
	30歳代	129	38.8	45.0	10.1	4.7	1.6
	40歳代	108	34.3	43.5	13.9	5.6	2.8
	50歳代	134	34.3	45.5	12.7	5.2	2.2
	60歳代	219	35.2	46.1	11.0	2.3	5.5
	70歳以上	148	23.6	50.0	10.8	5.4	10.1
	全体	806	33.6	45.9	11.9	4.0	4.6

問 22-4. 男性が「介護休暇」を利用することについての考え（性別・年齢別）

		回答者数	とった方がよい	どちらの方がよい え	どちらの方がよい え	とらない方がよい	無回答
女性	20歳代	114	46.5	42.1	7.9	0.0	3.5
	30歳代	246	54.5	37.4	5.7	0.8	1.6
	40歳代	207	52.2	42.5	2.9	0.5	1.9
	50歳代	209	48.3	42.6	4.8	1.0	3.3
	60歳代	287	35.9	47.0	4.9	1.0	11.1
	70歳以上	192	34.4	32.3	4.7	3.1	25.5
	全体	1,258	45.0	40.9	4.9	1.1	8.0
男性	20歳代	67	40.3	43.3	13.4	0.0	3.0
	30歳代	129	38.8	49.6	7.8	2.3	1.6
	40歳代	108	38.0	44.4	11.1	3.7	2.8
	50歳代	134	36.6	49.3	8.2	3.0	3.0
	60歳代	219	37.9	47.0	7.8	0.9	6.4
	70歳以上	148	26.4	47.3	8.8	2.0	15.5
	全体	806	35.9	47.3	8.9	2.0	6.0

23. 男性が育児・介護休業制度を利用しないほうがよいと考える理由（複数回答）

（問 22 で 3・4 と答えた人のみ）【問 23】

男女ともに「職場の理解が得られない」が最も高く、女性で 47.6%、男性で 47.3%の回答者が選択している。また、女性では「経済的に苦しくなる」が 45.5%、「男性より女性がとるべき」が 43.1%、「仕事の評価や配属に影響する」もほぼ同じ割合で高く、かつ、男性よりも高くなっている。特に、若年層の女性ほど、「経済的に苦しくなる」の割合が高くなっている。

図 23. 男性が育児・介護休業制度を利用しないほうがよいと考える理由（複数回答）
（問 22 で 3・4 と答えた人のみ）

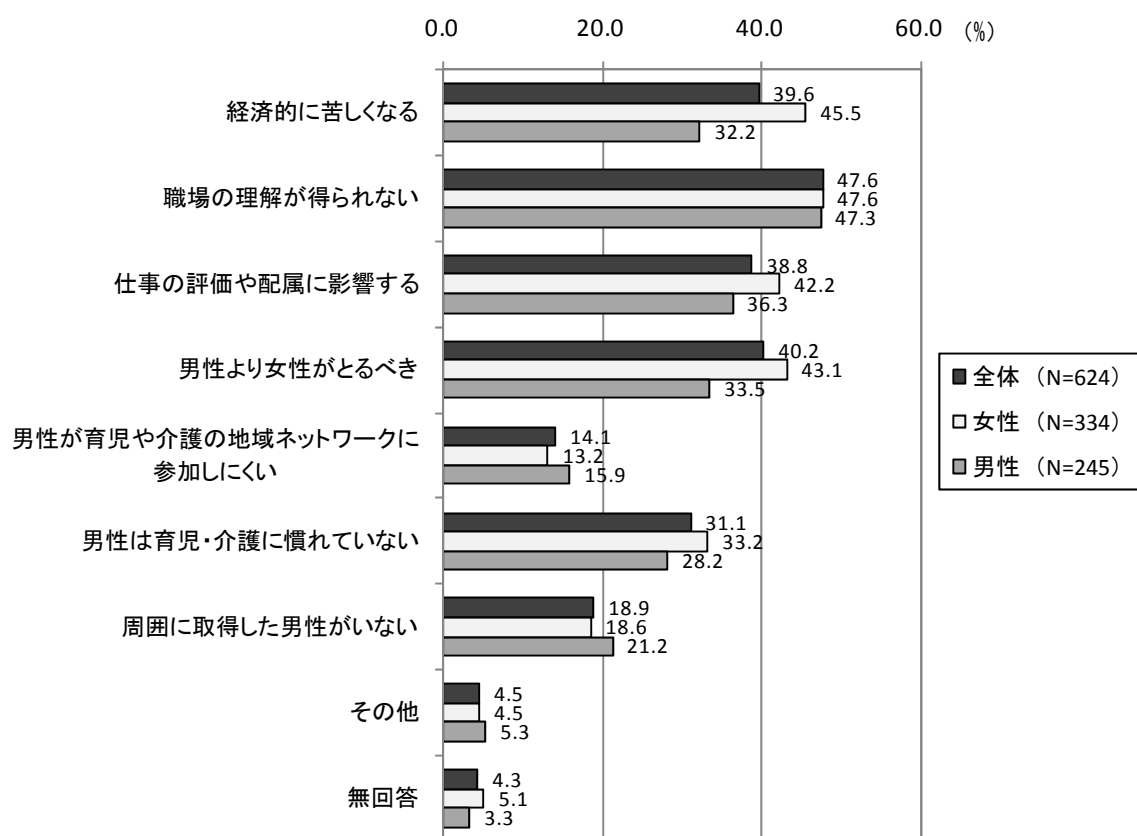


表 23. 男性が育児・介護休業制度を利用しないほうがよいと考える理由（複数回答）（性別・年齢別）

		回答者数	経済的に苦しくなる	職場の理解が得られない	仕事の評価や配属に影響する	男性より女性にとるべき	男性が育児や介護に参加しにくい地域ネットワーク	男性は育児・介護に慣れていない	周囲に取得した男性がいない	その他	無回答
女性	20歳代	28	71.4	57.1	46.4	32.1	25.0	25.0	39.3	10.7	0.0
	30歳代	54	53.7	70.4	63.0	35.2	14.8	25.9	29.6	7.4	0.0
	40歳代	59	50.8	54.2	40.7	30.5	8.5	28.8	18.6	8.5	6.8
	50歳代	54	40.7	38.9	37.0	44.4	14.8	37.0	20.4	1.9	9.3
	60歳代	83	37.3	41.0	33.7	50.6	8.4	39.8	8.4	1.2	6.0
	70歳以上	56	35.7	32.1	39.3	57.1	16.1	35.7	10.7	1.8	5.4
	全体	334	45.5	47.6	42.2	43.1	13.2	33.2	18.6	4.5	5.1
男性	20歳代	20	35.0	55.0	50.0	25.0	5.0	10.0	30.0	0.0	0.0
	30歳代	31	32.3	51.6	35.5	12.9	12.9	22.6	22.6	6.5	3.2
	40歳代	35	51.4	45.7	34.3	20.0	11.4	22.9	17.1	11.4	0.0
	50歳代	44	34.1	43.2	34.1	27.3	13.6	27.3	20.5	4.5	6.8
	60歳代	68	27.9	45.6	32.4	45.6	23.5	35.3	22.1	2.9	4.4
	70歳以上	47	21.3	48.9	40.4	48.9	17.0	34.0	19.1	6.4	2.1
	全体	245	32.2	47.3	36.3	33.5	15.9	28.2	21.2	5.3	3.3

24. これまでに仕事を辞めたことがあるか【問 24】

これまでに仕事を辞めたことがある人の割合は、女性で 78.7%と、男性の 56.1%より大幅に多くなっている。

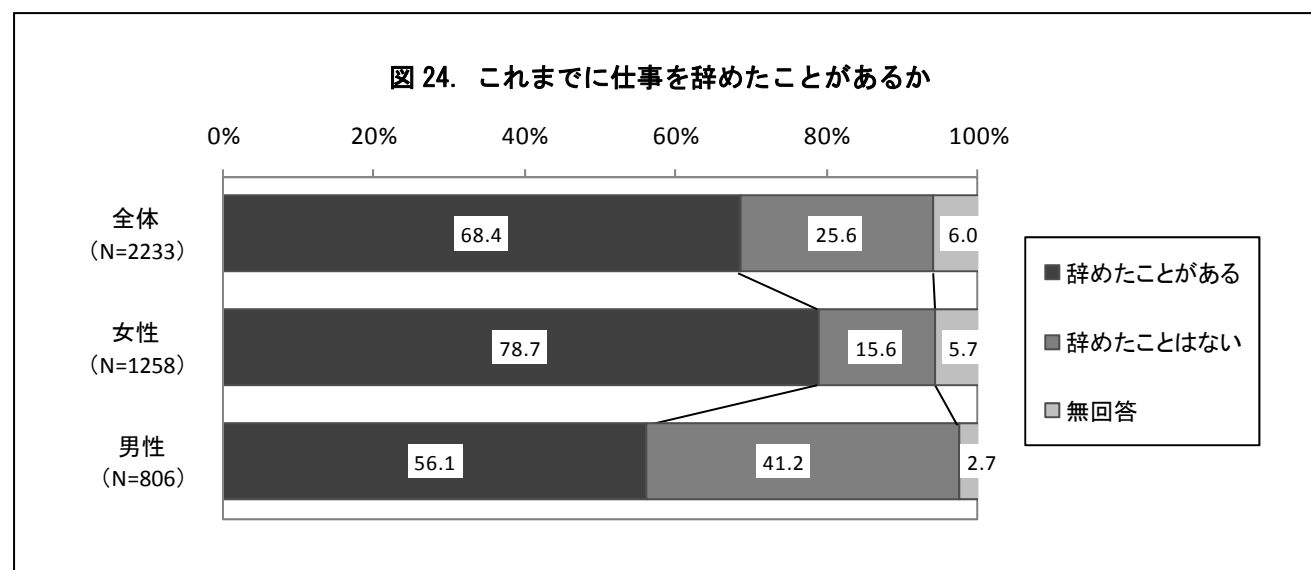


表 24. これまでに仕事を辞めたことがあるか（性別・年齢別）

		回答者数	辞めたことがある	辞めたことはない	無回答
女性	20歳代	114	48.2	50.0	1.8
	30歳代	246	83.7	15.4	0.8
	40歳代	207	87.9	9.7	2.4
	50歳代	209	92.8	4.8	2.4
	60歳代	287	79.1	13.2	7.7
	70歳以上	192	64.1	17.2	18.8
	全体	1,258	78.7	15.6	5.7
男性	20歳代	67	40.3	56.7	3.0
	30歳代	129	55.8	42.6	1.6
	40歳代	108	53.7	46.3	0.0
	50歳代	134	50.0	47.8	2.2
	60歳代	219	68.5	28.8	2.7
	70歳以上	148	52.7	41.2	6.1
	全体	806	56.1	41.2	2.7

25. 前職を辞めた理由（これまでに仕事を辞めたことがある人のみ）（複数回答）【問 25】

前職を辞めた理由は、女性では「家事や子育てに専念したかった」が最も多く 20.2%、次いで「希望通りの仕事内容・労働条件でなかった」18.6%、「家事や子育てとの両立が困難だった」17.9%の順に高くなっている。男性では「希望通りの仕事内容・労働条件でなかった」が最も多く 32.3%、次いで「希望に合う転職先がみつかった」が 24.6%、「定年退職」21.7%の順に高い。

図 25. 前職を辞めた理由（これまでに仕事を辞めたことがある人のみ）（複数回答）

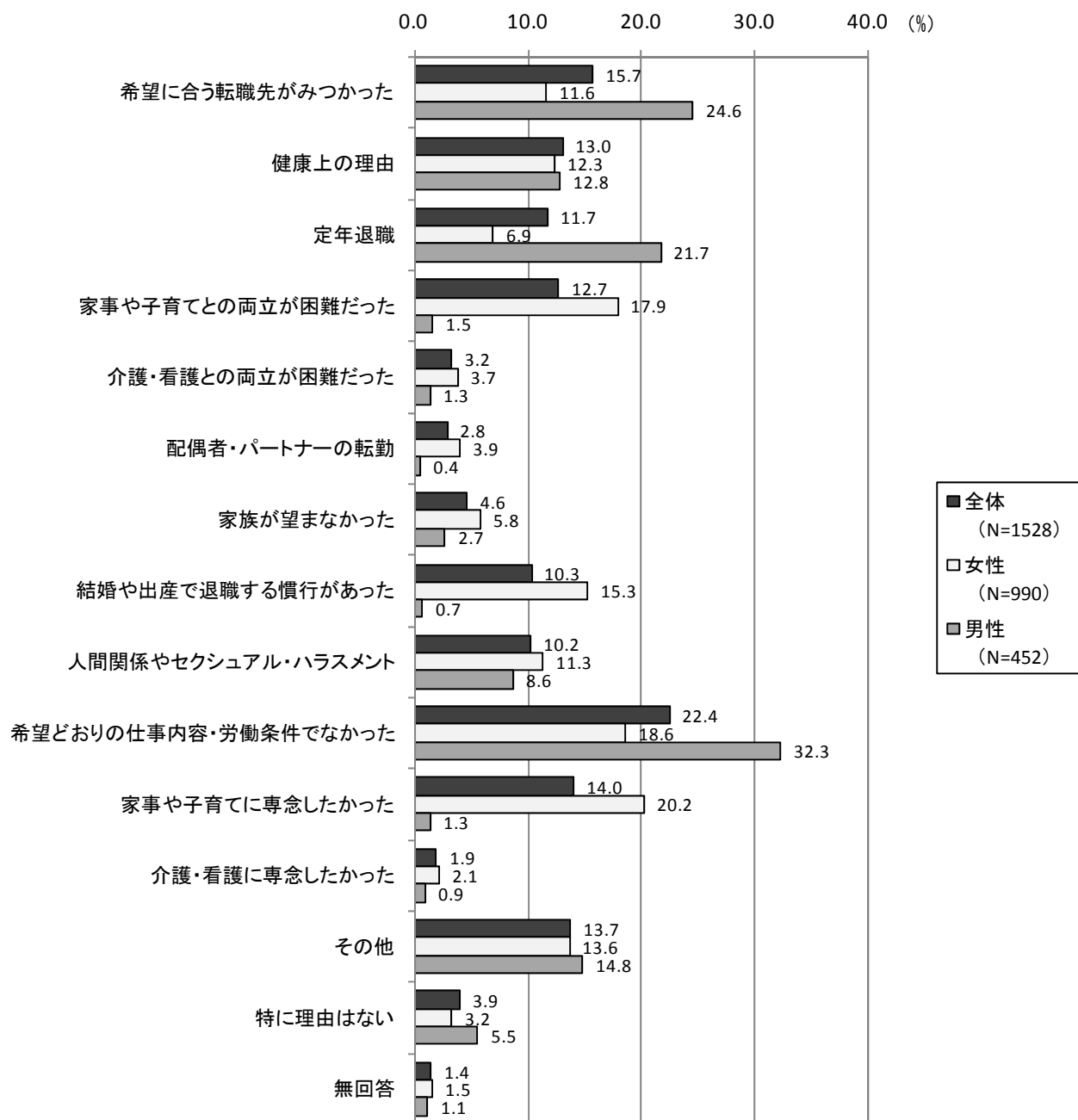


表 25. 前職を辞めた理由（これまでに仕事を辞めたことがある人のみ）（複数回答）（性別・年齢別）

		回答者数	先希望に合う につかつ 転職	健康上の理由	定年退職	家事や子育て の両立が困難	介護・看護 の両立が困難	配偶者の転勤	家族が望まな かつた	結婚や出産 のため
女性	20歳代	55	16.4	16.4	0.0	5.5	1.8	10.9	3.6	12.7
	30歳代	206	13.6	12.6	0.0	21.4	1.9	3.9	3.4	8.7
	40歳代	182	14.8	11.0	0.0	24.7	3.8	3.8	7.1	15.4
	50歳代	194	13.4	13.9	1.0	22.2	5.7	1.0	8.8	22.2
	60歳代	227	7.9	11.0	13.7	13.7	4.0	3.5	3.5	17.6
	70歳以上	123	5.7	12.2	28.5	8.9	4.1	6.5	7.3	12.2
	全体	990	11.6	12.3	6.9	17.9	3.7	3.9	5.8	15.3
男性	20歳代	27	18.5	14.8	0.0	7.4	0.0	0.0	11.1	0.0
	30歳代	72	33.3	13.9	0.0	1.4	2.8	0.0	6.9	0.0
	40歳代	58	27.6	19.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0
	50歳代	67	29.9	13.4	0.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5
	60歳代	150	16.0	10.7	40.0	0.0	0.7	0.0	1.3	1.3
	70歳以上	78	28.2	10.3	48.7	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0
	全体	452	24.6	12.8	21.7	1.5	1.3	0.4	2.7	0.7

		回答者数	人間関係 の悪化	希望内容 との不一致	専任の 子育て	介護・看護 の両立が困難	その他	特に理由 はない	無回答
女性	20歳代	55	18.2	32.7	14.5	1.8	18.2	3.6	3.6
	30歳代	206	11.7	25.2	22.3	1.0	18.0	1.9	0.5
	40歳代	182	14.8	24.7	22.0	1.6	13.7	2.2	1.1
	50歳代	194	10.8	18.6	21.6	0.5	13.9	1.0	1.0
	60歳代	227	10.6	11.0	20.3	3.5	10.1	5.7	2.2
	70歳以上	123	4.1	6.5	14.6	4.9	9.8	5.7	2.4
	全体	990	11.3	18.6	20.2	2.1	13.6	3.2	1.5
男性	20歳代	27	7.4	70.4	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0
	30歳代	72	15.3	34.7	4.2	0.0	9.7	1.4	1.4
	40歳代	58	10.3	41.4	0.0	0.0	24.1	3.4	0.0
	50歳代	67	13.4	35.8	1.5	1.5	19.4	7.5	1.5
	60歳代	150	5.3	26.0	0.7	0.7	14.7	8.7	0.7
	70歳以上	78	3.8	19.2	1.3	2.6	9.0	5.1	2.6
	全体	452	8.6	32.3	1.3	0.9	14.8	5.5	1.1